

ファインネットワーク通信

2015年12月号

こんにちは！
ファインネットワークの赤木広紀です。



早いもので2015年も終わりですね。

来年の予定を立てる時期になりましたが、実現したいことなどを手帳に書き込むといいですよとクライアントさんに教えていただいたので、早速、手書きの手帳を購入しました。



最近スケジュール管理をGoogleカレンダーで行っていますので、紙の手帳は久しぶりです。

タスクやアポイントではなく、純粋に願望や目標を手帳に書き込むことで、自分の行動がどう変化するか、今から楽しみです。

それでは今月もよろしくお願いします！

鳥取砂丘デビューしました！

今年は振り返ると案外、色んなところに出かけていました。



11月は、生まれて初めて鳥取砂丘に行きました。

一面、砂、砂、砂の世界で、遠くの丘に人が微かに見える。そんな砂丘に圧倒され、あの丘まで歩いていけるだろうかと最初は躊躇しました。

が、思い切って一步一步足を踏み出すと、案外早く山頂？に着きました。アタマで考えるよりも足を一步一步踏み出し続けると、思ったよりも簡単に到達できる。

そんな目標達成に向けての行動と通ずるところがあるなど、日本海を眺めながら、ちょっとした達成感を味わいました（笑）。

砂丘の近くには、鳥取砂丘の砂と水だけで作った「砂の美術館」があり、本当にこれが砂だけでできているのか！？というような作品が体育館のような大きな会場一杯に展示されていました。



ちなみに鳥取県知事の「鳥取にはスタバは無いですが日本一のスナバ(砂場)があります」の発言がキッカケとなってできた「すなば珈琲」にも行ってきました。(スタバも1号店が最近、オープンしましたね)

鳥取駅の中には、「名探偵コナン」の砂像もありました。鳥取は作者の青山剛昌さんの出身地だそうです。



子どもの頃、住んでいたマンションの砂場でよく砂遊びをしていましたが、砂丘という巨大な砂場と、砂遊びを極めた砂像に触れ、思いがけなく童心に返ったひとときでした。

公文式とかけて人生ととく。そのころは？

小学生の頃、公文式の教室で算数と英語を習っていたことがあります。

ご存知かもしれませんが、公文式の教材は年齢や学年に関係なく、解けば解くほど、上の学年の問題がドンドン出てくるんですね。なので、中には小学生なのに高校3年生で習う微分積分の問題を解いている子どももいます。

最近、ふと、この公文式のシステムと人生って似ているなって気がきました。

解けば解くほど難易度の高い問題が出てくる公文式。

人生もまた、色んな問題が目の前にやってきて、それを解くと、また新たな問題がやってくる。

自分の今の実力より、ちょっと上の問題を解こうとしているときは、しんどいけれども、それが解けた後は力がついているので、以前、問題だと思ったことがもう問題ではなくなる。そして、また次の問題にチャレンジして・・・これを繰り返すのが人生なのかと。(もちろん、アタマも身体も休めるときは必要ですが)

ということで、お題に戻りまして、公文式とかけて人生ととく。その心は？

「解いても解いても、問題は終わりません（笑）」

次はアミーゴのコーナーです！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

突然ですが、みなさんは日記をつけていますか？

20代の頃の私は、紙の日記で日々のことを綴っていました。当時はA6サイズの日記を、1日1ページ書いていたのです。今思うと、何をそんなに書いてたのか？と思うほど、結構な分量ですよね。

30代は10年日記というのを使っていました。夫から勧められたものですが、1日4行程度の分量なので、結構気がラクになりました。

10年分の思い出を、1冊に集約できるのは味わい深いものです。去年の同じ日は、こんな出来事があったんだなあ・・・と思い出に浸ることもしばしば。

そんな私ですが、今は10年どころか、新たに100年間使えるものを新たに愛用しています！



iPhone アプリ
100年日記

自分の手書きで日々を綴る良さがアナログにはありますが、デジタルもその特性を活かした良さがあります。

一つは、いつでもどこでも書き込めること。紙の日記は持ち運ぶことが無いので（10年日記は重いですし）、どうしても自宅でまとめ書きになります。

スマホアプリだと、空いた時間にささっと出来事を書く（打ち込む）ことが出来ます。写真も挿入できるので、その日の出来事がより鮮明に記録できます。

二つ目は、好きな量を書き込めるところでしょうか。紙の日記だと、4行なら4行、1ページなら・・・と書くスペースが決められています。

デジタルだと柔軟に対応できます。大して書くことが無い日は1～2行程度。様々な出来事があった日は、好きなだけ記録に残せます

デジタルだと検索も便利ですね。「前回、美容院に行ったのはいつだったっけ？」日記アプリの検索窓で調べると、すぐに分かります。

これが便利さの3つ目でしょうか。



アプリのサービスが終了しない限り、文字通り100年もの間、日記を綴れるのですが。

10年後、20年後の自分が、現在書き綴ったものを見て、どんな思いを馳せるのでしょうか。ちょっと興味深いものです。

これがオススメ！？



ファインネットワーク通信10月号でもお伝えしましたが、塗り絵にハマっています。

先日、たまたま通りがかった本屋で、運命の一冊と出会ってしまいました！

100パズルぬりえ&点つなぎ
(グラフィック社)

そうそう、こういう塗り絵が欲しかった！
速攻でレジへと走りました(笑)

普通の塗り絵と違う点は、白黒の絵の中に番号が振られていること。番号ごとに塗る色が決まっています。

パッと見は、何が描いているのかわからない絵なのですが、指定どおりに塗っていくと、パズルのごとく絵が浮かび上がってくるのです！！

色を塗ることで、少しずつ正体が明かされていく・・・そのワクワク感にすっかりハマってしまいました。

こどもの塗り絵のように、好きな色を好きな場所にぬるよりも、決められた色を決められた通りに塗る方が、なぜか私には合うのですね。

気持ちがとても落ち着きます。

今日も空き時間に色鉛筆を走らせて、せっせとパズルを解いています！



ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

